

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日

承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原 孝彦
幹事 出口 達也
会報委員長 佐野 彰彦

第2998回例会プログラム

[当年度=24回目; 当月=1週目]

2018年(平成30年) 2月5日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 食事

12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告

9. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

10. 幹事報告

11. 出席報告

12. 委員会報告

13. ニコニコボックス報告

14. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(2/12) ……休会(法定休日)

(2/19) ……

クラブフォーラム(国際奉仕委員会)

卓話「ラオス報告」

講師 クラブ国際奉仕委員長

市川 裕大 会員

13:00 15. 本日のプログラム

卓話「愛知教育大学の地域連携の現状と課題」

講師 国立大学法人 愛知教育大学

副学長 西淵 茂男 様

(紹介者 丹羽 克誌 会員)

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

16. 謝辞

17. 点鐘……………〈会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

ゲ ス ト

愛知教育大学 広報・地域連携課

課長 加藤 昌 様

室長 浅岡 明美 様



青少年交換学生 ローウェン・ステファンソン 君

出 席

会員総数 96名 出席免除 24名

出席義務者+免除者の内例会出席者 85名

欠席 11名 出席率 87.05%

前々回(1/22)の修正出席率 100%

幹 事 報 告

1) 2月1日よりロータリー財団のロータリーレートは、110円になりました。

2) 2月24日土曜日に開催されます、インターシティミーティングの出欠席の連絡はすでに頂いておりますが変更のある方は、今週中に事務局へご連絡をお願い致します。

会長あいさつ

猫バンバン

吉原 孝彦



猫は約6千年前の新石器時代にリビアヤマネコがトルコ周辺から船で欧州に渡って家畜となったらしいです。ちなみに飼いなされた犬が世界に広まったのは1万8千年前だそうです。

猫バンバンとは、自動車の隙間に入ってしまった猫に、こちらの存在を気付かせるために、乗車前にボンネットをバンバンと軽く叩き、車体を揺らすアクションのことです。

猫は寒いと暖を求めて、風や雨のしのげる場所であるエンジンルームやタイヤハウスに入ってしまうことがあります。ここは猫にとって非常に快適な環境が整っている場所で、暗く狭い・暖かい・人目に付かないという野良猫が好むポイントです。エンジンルームには小さな穴が開いていますし、タイヤの隙間をつたって入ることも出来ます。ですから入ってしまう猫の9割は子猫です。

猫が入ったのを気付かずにエンジンを始動したために犠牲になったり、エンジンに支障をきたす事故が増えているそうです。

悲惨な事故を起こさないために①ボンネットをノックする。いわゆる「猫バンバン」です。猫は基本的に警戒心が強いので、自分の休んでいる場所がノックされるとびっくりして飛び出していきます。日産の調べで、車の下とかにいたのを含めて、猫バンバンしたときの14%に猫がいたそうです。②エンジンルームの目視チェック。最も有効ですが、手間がかかります。③シャッター付駐車場。猫を近づけない策です。④猫が嫌がる工夫。忌避剤の使用、超音波発生器の使用があります。

ちなみに、夏の日も暑さ・日差しなどを避けるために車の下に入り込む猫がいます。

日産は2016年1月26日より「猫バンバンプロジェクト」を開始しています。またJAFも推進しています。トヨタはどうしているのでしょうか。

(2)

お祝い

2月の会員の誕生日…盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、池田直樹、加藤大志朗、石川友美、佐野彰彦会員。

配偶者の誕生日…平野恵子(和一)、野村弘子(重彦)、杉浦光子(芳一)、林仁恵(正敏)様。

2月度結婚記念日…橋典子、加藤正則、市川裕大、中川耕児会員。

2月度入会記念日…羽田育哉、神谷光義、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久会員。

還暦

伊藤 節夫 会員

卓話

「愛知教育大学の地域連携の現状と課題」

国立大学法人 愛知教育大学

副学長 西淵 茂男 様



愛知教育大学は、長い歴史を有し、愛知県を中心に数多くの有為な教育者を育て、教員養成大学としての役割を果たしてきました。正規教員就職者数は7年連続全国一の実績を有し、幼稚園から大学までの各学校種

に対応した「教育の総合大学」として、子どもたちの未来を拓くプロフェッショナルな教員や学校教育を支援する人材の養成を行うことをその使命としています。

愛知県は全国一の「ものづくり」の県として有名ですが、その基盤となるのは、ものづくりを支える「人づくり」です。そこで、本学は地域貢献型の大学として、「ものづくりが盛んな中部地区において、科学・ものづくり教育や外国人児童生徒支援教育等の地域社会の要請に応えるため、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、豊かな人間性と確かな実践力をもつ、優れた教員と教育支援専門職の養成を目指しています。

たくましく優れた人材を育成するためには、学生時代から多様な体験活動が必要です。本学は、平成29年度よりカリキュラム改善を行い、3年次に実践力育成科目と

して「学校サポート活動」、「自然体験活動」、「多文化体験活動」及び「企業体験活動」を創設し、「企業体験活動」では1週間程度のインターンシップ活動を展開することとしております。

本学では、これまでも企業との連携活動として、企業の出前授業における教材開発やプログラムづくり、ビオトープづくりや里山保全活動等の環境教育、NIE（教育に新聞を）の推進等各種の事業を展開してきました。また、グローバル時代の進展と急激な技術革新の中で、大学としても地域のニーズに応える新たな社会貢献の在り方について検討し、一時帰国子女を対象としたAUEサマースクールや企業による寄附講座等も実施しています。

今後は、教育機関との連携はもとより、刈谷ロータリークラブ様を軸にした地域の企業等との連携が重要と考え、企業等と本学を結び、年1回程度、両者の社会貢献の在り方等についての意見交換を初めとして、連携の推進を目的とした「企業等と大学の連絡企業」の設置について企画いたしました。

これらの趣旨をご理解の上、本連絡会議にご協力いただければ幸いです。